令和4年度



# 鶴小だより

学校教育目標 やさしく かしこく たくましく

ふじみ野市立鶴ヶ丘小学校 3 月<del>号</del>

校長 秋元 江利子

ホームページ更新中

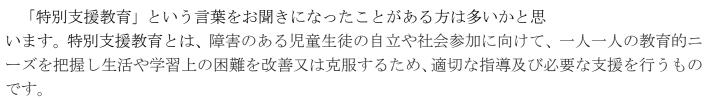
## 保護者の方 地域の方に支えられて

令和4年度もあと残り1ヶ月となりました。今年度の大きな学校行事については、職員が何度も話し合いを重ね、子供たちの成就感を大切にしながら活動のねらいを達成できるように工夫をして実施してまいりました。保護者の方には、様々なご理解ご協力をいただく形とはなりましたが、以前よりも来校いただく機会が増え、子供たちの笑顔にふれていただいたことは私共の大きな喜びとなっております。

また、これまでは控えていただいていた地域の方にも今年度はゲストティーチャーとして来校いただくことが可能となりました。様々なご支援のおかげで子供たちの学びが豊かになりました。保護者の皆様、地域の皆様のご理解とご支援のおかげで、本校の教育活動があることを改めて感じた1年間となりました。心より感謝申し上げます。

### みんないっしよに 育ち合い

#### ~病弱・身体虚弱特別支援学級立ち上げにあたり~



本校には特別支援学級(みんなの学級)が3学級あります。現在設置されている学級は知的障害特別支援学級、自閉症・情緒障害特別支援学級ですが、令和5年度は新しく病弱・身体虚弱特別支援学級が新設されることとなりました。

特別支援学級(みんなの学級)の運営にあたって、私は大切にしたいことがあります。それは「育ち合い」の視点です。人には無数の能力や可能性があります。子ども達には、今、見えている現象だけを切り取って「できる、できない」と限定的にとらえるのではなく、同じ人間として、すべての人がそれぞれに個性を持っているという人権感覚を身に付け成長してほしいと願っています。

すべてのお子様の健やかな成長は、お互いに共感し合うあたたかい環境の中でこそ得られるものです。違いを肯定すること、努力する気持ちはみんな同じであることを学び、お互いに認め励まし合う感性を育てることはとても大切なことだと考えています。

本校ではお子様の実態によっては通常学級との交流学習を行っています。幸いにも、行き来する 友達にあたたかな言葉を使える子ども達が育っています。これは保護者の皆様、地域の皆様の日頃 からのあたたかい言動のおかげであるともいえます。学校では、今後も一人一人の個性を大切にし た教育を進めてまいります。保護者の皆様、地域の皆様におかれましても一層のご理解、ご支援の ほどよろしくお願い申し上げます。

#### 令和4年度 3月の行事予定

月	火	水	木	金
		1 なかよしタイム 1・15見守日 委員会活動(最終)	2 つるっ子タイム (1・3・5年) ぐんぐんタイム (2・4・6年) 短縮5時間(3~6年) 新通学班編成・一斉 下校 下校指導	3 よむよむタイム 集金日 PTA登校指導 (~7日) 授業参観懇談会(み んな)
6 ギガタイム	7 お話朝会	男校記念日	9 つるっ子タイム (2・4・6年) ぐんぐんタイム (1・3・5年) さわやか相談員来校	10 読み聞かせ 読み聞かせ会議 安全点検日
13 あのねタイム	14 よむよむタイム スクールカウンセ ラー来校	15 学級の時間 1・15見守日 卒業式予行 6時間授業(4~6年)	16 つるっ子タイム (1・3・5年) ぐんぐんタイム (2・4・6年)	17 よむよむタイム 給食最終日
20 朝読書 特別日課3時間 (1~4·6年) 特別日課4時間 (5年) 卒業式前日準備 (5年)	21 春分の日	22 卒業式 特別日課4時間 臨時休業日 (1~5年)	23 特別日課3時間 一斉下校 下校指導 臨時休業日(6年)	24 特別日課3時間 修了式 臨時休業日(6年) 校外パトロール
27 春休み (~4月9日)	000	1		

# 今月の生活目標 次の学年の準備をしましょう

一年間のまとめの月、3月になりました。一年間使用した教室・机・下駄箱等を、新年度から使う下級生のためにきれいにします。また、自分の学習道具も4月からの新しい学年に向けてきちんと整頓・補充しましょう。学習については、今年度のうちに復習をしておきましょう。新たな学年に向けて、心も身のまわりもしっかり準備していきましょう。

#### 【令和4年度春季全国火災予防運動】

この運動は、火災が発生しやすい時季を迎えるに当たり、火災予防 思想の一層の普及を図り、もって火災の発生を防止し、高齢者を中心 とする死者の発生を減少させるとともに、財産の損失を防ぐことを 目的とする運動です。実施期間は令和5年3月1日(水)から3月7 日(金)までの7日間です。今年度の防火標語は、『お出かけはマス ク戸締り 火の用心』です。この機会にご家庭でも、いのちを守る習 慣や対策について話し合ってみてください。

